

2022年2月22日

積水化成品工業株式会社(本社:大阪市北区西天満2-4-4 社長:柏原正人)の、海洋プラスチック問題解決に向けた取り組みが、本日、日本プラスチック工業連盟の最優良賞として表彰されました。

海洋プラスチック問題解決に向けた取り組みが、 日本プラスチック工業連盟の「最優良賞」を受賞

環境省は、世界的な海洋プラスチック問題の解決に向けて、個人・自治体・NGO・企業・研究機関など幅広い主体が連携共同して取り組みを推進し、さらに広げていくため、2018年10月から「プラスチック・スマート -for Sustainable Ocean-」^{*1}キャンペーンを実施しています。私たちは、この内容に賛同し、当該キャンペーンサイトに取り組み事例を紹介してまいりました。

日本プラスチック工業連盟^{*2}は、海洋プラスチック問題解決に向けた「宣言活動」に関連して募集した「具体的な取り組み事例」の中から、特に優良な事例を表彰しており、今年度は、「プラスチック・スマート」にも紹介した、使用済みフロート回収リサイクル活動をはじめ、樹脂ペレットや発泡粒子の流出防止対応、グループ全体での環境教育の実施など、当社グループの海洋プラスチック問題解決に向けた取り組みが評価され、最優良事例に選定、表彰されました。



表彰式

【取り組み事例】

使用済み発泡スチロール製フロートの再資源化

「養殖いかだ」などで使用されていた発泡スチロール製フロート(廃フロート)の回収およびリサイクルに取り組んでいます。



回収

使用済みフロートを回収。

減容処理

廃フロートを減容機でつぶして容積を約1/10に。(輸送コストを大幅に削減)

RPF(固形燃料)化

RPF工場へ運搬し、他のプラスチックなどと混合されて固形燃料となる。



この他にも、海洋ごみになりにくい製品の開発や再資源化に取り組んでいます。

積水化成品グループは、環境と共生するモノづくりを原点とし、約50年前(1971年)から使用済み発泡スチロールのリサイクルに取り組んでいます。現在では、業界全体の発泡スチロールリサイクル率は90.8%(出典:発泡スチロール協会^{*3})にまで向上しています。

今後も、リサイクル率向上に向けた取り組みを加速させ、資源循環型社会の構築に貢献していきます。

*1 「プラスチック・スマート」キャンペーンサイト URL <http://plastics-smart.env.go.jp/>

*2 日本プラスチック工業連盟 URL <http://www.jpif.gr.jp/index.html>

*3 発泡スチロール協会 URL <https://www.jepsa.jp/>